

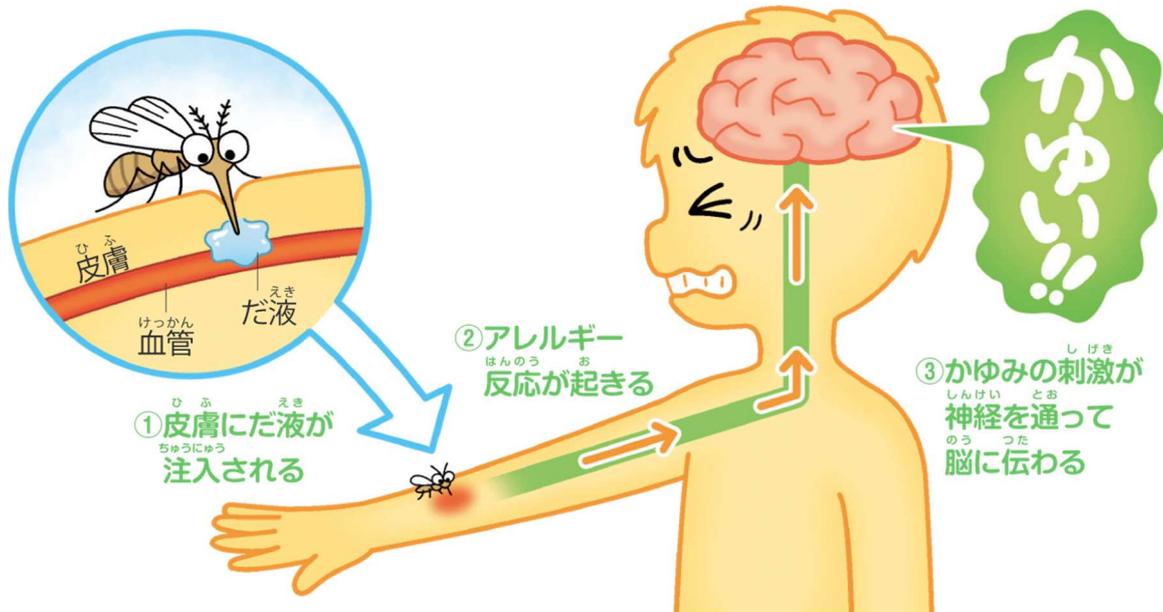


感染対策だより

院内感染対策委員会発行：第70号 令和5年8月発行

蚊媒介感染症に注意しましょう！

「蚊に刺されるとどうしてかゆくなるの？」



蚊が血を吸うときには、口の先の針からだ液を皮膚の中に出して、血を吸います。このだ液には血を固まらなくする働きや、針の痛みをおさえる働きがあります。蚊のだ液は、人にとって異物なので、体内に入ると、取り除こうとしてアレルギー反応がおき、刺された部分が赤くはれ、かゆくなります。

「蚊に刺されやすい人は？」

蚊は人が出す二酸化炭素や、汗や体のにおい、体温が上がっている人などに寄ってきます。代謝のいい若者や子どもの方が狙われやすいと言われています。



汗をかいた人
運動した直後の人



体温が高い人



お酒を飲んだ人



黒い服の人

「蚊媒介感染症について」

病原体を保有する蚊に刺されることによっておこる感染症のことです。

デング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症、日本脳炎、原虫疾患であるマラリアなどがあります。

これらの感染症は主に熱帯、亜熱帯地域で流行しています。

日本においては、日本脳炎以外の蚊媒体感染症は海外からの輸入感染症として、みられています。デング熱に関しては2014年に国内感染例が報告されております。

デング熱・日本脳炎について紹介します。

疾患	デング熱	日本脳炎
蚊の種類	ヒトスジシマカ	コガタアカイエカ
活動時期	昼間	夜間（日没直後）
症状	急激な熱で発症 発疹、頭痛、骨関節痛、嘔気・嘔吐 など	突然の高熱 頭痛、嘔吐など 意識障害や麻痺などの神経系の障害を 引き起こす病気で、後遺症を残すことや 死に至ることもある

治療法は、対症療法が中心となり、**蚊に刺されない為の対策が重要**です！！

「蚊に刺されないようにするには？」



「蚊を発生しないようにする対策は？」

蚊は卵から成虫になるまで水中で生活をします。ちょっとした水たまりがあれば場所を問わず卵を産むことができます。

対策として、**不要な水たまりをなくすよう心掛ける、水をなくせない場合は定期的に掃除**をしたり、**こまめに水を入れ替え**しましょう！

海外旅行での感染症に注意しましょう！

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症となり、海外旅行へ行く方や海外旅行の計画を立てている方もいるでしょう。

海外旅行で注意すべき感染症について紹介します。

「海外で流行している主な感染症と対策について」

蚊による感染症

★マラリア

流行地域≫アジア、アフリカ、中南米

症状≫高熱、下痢、悪寒、冷汗、頭痛、筋肉痛、意識障害

★デング熱

流行地域≫アジア、オセアニア、アフリカ、中南米、中東

症状≫高熱、目の奥の痛み、筋肉・関節痛、発疹

★対策★

虫よけ剤の使用

長袖・長ズボンの着用

室内での蚊取り線香

などをしましょう！



★対策★

動物との接触を避ける

狂犬病ワクチンを受ける

ようにしましょう！



動物による感染症

★狂犬病

流行地域≫世界各地

症状≫発熱、治癒した受傷部の痛み、知覚過敏、恐水・恐風症状

★MERS

流行地域≫中東

症状≫発熱、下痢、呼吸器症状

食べ物・水による感染症

流行地域≫世界各地

★E型肝炎、A型肝炎

症状≫発熱、倦怠感、黄疸

★コレラ

症状≫嘔吐、下痢による脱水、大量の水様便

★赤痢

症状≫発熱、下痢、激しい腹痛

★対策★

十分火の通った食べ物を食べる

生肉を食べない、生水を飲まない

ようにしましょう！



「海外旅行後に気を付けること」

海外旅行から帰ってきてから、何らかの体調不良を訴える方は、実に旅行者の数十パーセントに及ぶと言われています。

海外旅行、特に発展途上国を旅行した後、**少なくとも6ヶ月の間は、旅行関連の感染症が生じる可能性**があります。

デング熱による症状は、ほぼ帰国後3週間以内にみられますが、マラリアなどの寄生虫による感染症や一部の細菌による感染症の症状は、数週間～数か月あるいは数年たってから生じることもあります。

海外旅行後の体調不良には、思わぬ感染症が潜んでいる可能性がある為、早めに医療機関に受診をしましょう。

受診の際は・・・

旅行先、旅行期間、旅行の目的、旅行中の行動、宿泊先の状況（虫よけ対策ができていたか）、旅行前の予防接種についても伝えましょう！



まず**海外旅行前に、滞在先でどんな感染症が流行しているのか情報を集めて感染予防することが大切**です！！

また、滞在する地域の感染症の流行状況に応じて、**旅行前に予防接種を検討**しましょう！

（予防接種によっては数回受けないと効果がないものや、予防接種証明書が入国条件となるものもありますので、渡航の3か月以上前に、専門の医療機関などに相談しましょう。）

感染症に注意して

楽しい夏に

しましょう！！！！

